

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	朝霞市立朝霞第一小学校 令和7年度第4回学校運営協議会	
開催日時	令和8年2月27日（金） 午後3時30分から午後4時45分まで	
開催場所	朝霞市膝折町4-11-7 朝霞第一小学校 北校舎2階 なでしこ会議室	
出席者及び欠席者の職・氏名	出席者 朝霞第一小学校 校長 金子 二郎 朝霞第一小学校 教頭 加藤 淳子 朝霞第一小学校 PTA 会長 太田 剛 膝折宿町内会副会長 大橋 千栄子（副委員長） 地域有識者・企業経営者 梶本 尚樹 朝霞第一小学校 学校応援団 石丸 梢 朝霞市南西地区民生委員児童委員 藤田 康枝 元朝霞市副市長 關野 武男 元朝霞第四小学校 校長 内田 隆（委員長） 菩提樹の森幼稚園 園長 佐藤 順與 欠席者 なし	
議題	1、学校長あいさつ 2、これまでの学校経営について 3、学校評価について 4、協議及び懇談 5、その他	
会議資料	・次第 ・学校評価 ・朝霞市立小・中学校の教職員の業務量管理・健康確保措置実施計画	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法 校長による確認		
傍聴者の数	1人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【審議概要】

1、学校長あいさつ

(校長) 3月を迎えるにあたり、心配されたインフルエンザについては下火になってきている。2025年、皆様のおかげであと1か月を迎える時期となっている。よろしくお願ひしたい。

2、これまでの学校経営について

(校長) 予定した通りの教育活動を実施。21日(土)今年3回目のPTAイベントを実施。児童が楽しそうに充実をした日々を過ごすことができた。今回は、町内会・PTAのOB・OG等、地域的な広がりを感じる実施となった。6年生においてはキャリア教育の一環としてゲストティーチャーを迎えて実施。様々な職務を職員で分担して体制を維持している。  
生徒指導については、各関係諸機関との連携を取って進めている。

(關野委員) 関係諸機関との情報連携については、どうなっているものなのか。

(校長) ある程度、個人情報保護を観点で、情報を入手しにくい傾向はある。

(關野委員) 継続して働きかけをするとよいのではないか。

3、学校評価について

(教頭) 学校評価の項目や内容について説明

(太田委員) 学年を超えて色々な教員が指導していることへの変化の具体性は。

(教頭) 個々の声かけのアプローチの違いによる働きかけをしている。

(關野委員) アンケートと学校評価項目が一致するように提示してもらいたい。

(藤田委員) 同じように感じていた。保護者・児童・教職員・学校関係者がリンクするようにしてほしい。

(太田委員) 学校関係者評価自体に意味があるのかを考えてしまう。

(藤田委員) アンケートならば違うが、毎日見ているわけではないので、評価だと難しい面がある。

(校長) 自己評価は自分目線。それぞれの立場からの率直な意見を頂戴している。完全に客観的な評価ならば第三者委員会である。頑張っている上だから、こうしたほうがいと評価いただけるとありがたい。

(橋本委員) 教育委員会に提出を求められているものですか。

(校長) 提出はする。そのフィードバックを生かしていきたい。

(關野委員) アンケートと学校評価項目が一致するように提示してもらいたい。  
三中はそれに近いと思う。

(校長) ひな形は出ているが、それぞれの学校で評価項目を作成している。次年度検討したいと思う。

(橋本委員) 本来であれば、学校目標に向けて評価を作ると分かりやすいのではないか。

(内田委員) それぞれの自己評価を見せてもらって、課題を書かせてもらった。どちらかといえば第三者的な評価をした。

(校長) お書き頂いたことから伝わってくるものを真摯に検討していきたい。

(佐藤委員) 健康・体力については実感がある。ITを導入する弊害について。家庭でSNSを通じたことによる弊害について。

(校長) 学校内で児童と決めたタブレット使用ルールに基づきYOU TUBEを見てはいけない時間に使っている児童の指導。マイナスな情報の整理について

は追いついてないのは現実かもしれない。心配はされるころではある。特別支援教育に関わる中で、攻撃的なゲームをやることでじっとしていられない子になるという講師の話聞いた。登校渋り・不登校につながる傾向もあると聞いた。

(橋本委員) ITリテラシー教育の重要性について。無限スクロール機能の制限。内向的になって、他者と比較する傾向がある。ある程度の方針を入れていくべきでは。I P a dは見ない。家庭だけにしてしまうと難しい。

(校長) 国語の研修で生の言葉に触れたいという思いがあった。できることをやっている一方で、下校後の指導に関われない家庭の問題にできない部分がある。意見の共有をチャット代わりに使う機能がある。その利用に使われかねない。ICTの活用については、正しい使い方をしなくてはいけない。

(關野委員) G I G Aスクールが始まって3年。IT教材を使うが、効果はどうか。

(校長) 裾野が広がってきているのは確かである。

#### 4、協議及び懇談

(關野委員) 研修会が参考になった。学校運営協議会と地域学校協働活動が連携して働く意味が分かった。

(校長) コーディネーターは朝霞の場合は未配置。一番近いのはP T A、町内会、なでしこ応援隊である。

(大橋委員) 児童の自転車、3列走行は危険。飛び出し。今事故も多いので、注意をしていただくとよい。

(石丸委員) 結構注意はしている。窓を開けて声をかけている。

(藤田委員) 北浦公園からななめに出てくる。キックボードで出てくる。ボールを投げながら歩く児童。よそ見すると危ない。

(校長) 市内の事故もあり、真剣にしなければ。

(藤田委員) 注意を促したが、言葉が分からないこともあるようだ。経験させられない時代なので。

(校長) 転んだ時に手が出ない児童もいる。

(大橋委員) 実際、子供たちの様子を見て注意したことはある。

(太田委員) 地域のパトロール活動はできれば事故防止にもつながる。

(藤田委員) 宿町内会は夜やっているが、子供の防犯パトロールも昼にやってもよいかもしれない。

(校長) 窃盗の件数で、小学生の児童が増えてきていることへの懸念。10代前半で希望を失ってしまう児童がいる現実について、大変憂慮しており、面倒を見ていかななくてはならないと思っている。

#### 5、その他

(教頭) 来年度の年間行事計画について。

(校長) 来年度も、本年度の委員の皆様をお願いしたい。

(校長) 朝霞市業務量管理・健康確保措置実施計画について、それに沿って第5回に経営方針を示す。登下校時の見守り活動、市の交通指導員さんにご協力いただいている。学校徴収金の徴収管理については、P T A役員の皆様にご理解いただき、民間の委託業者に委託予定。皆様にまたお力添えを。